

令和元年度社会福祉センター事業実績評価シート

事業	項目	市評価
		総評
1 施設の管理運営・貸出業務	(1) 施設の目的に沿った管理運営	<p>施設の目的に沿った管理運営については、適切に行われた。</p> <p>建物や設備の保守管理についても適切に実施されているが、経年劣化と思われる原因により外壁タイルの一部が落下する事故が発生した。事故に対しては、速やかな安全確保等、適切な対応が行われた。</p> <p>引き続き、点検による不具合の早期発見を行うとともに、施設の老朽化により課題となっている修繕等について、長期的な計画に基づいて着実に実施されたい。</p> <p>利用者からの意見等について、適切に対応し、職員による情報共有が図られている。</p> <p>施設の利用率の向上に向け、様々な広報や利用状況の分析を行い、分析結果に基づく改善策の検討に取り組んでいる。今後は、検討した改善策の実行に向けた課題解決が求められる。</p> <p>施設運営に必要な職員は適切に配置されている。人材育成については、指定管理者である社会福祉法人共通の研修計画に基づき、実施されている。今後は施設の特性を踏まえた研修等を盛り込むことも検討されたい。</p>
	(2) 建物・設備等の管理	
	(3) 利用者ニーズの把握、苦情対応	
	(4) 職員体制・育成	
2 ボランティア支援等	(1) 情報収集・提供	<p>ボランティア活動に関する情報提供については、ホームページやSNS、広報誌等を活用することにより、幅広い世代に向け積極的に実施されている。</p> <p>研修の開催については、ボランティアコーディネーターのニーズを踏まえ、内容や開催方法等を工夫しながら実施されている。</p> <p>各区ボランティアセンターを対象としたボランティアコーディネーターの連絡会では、各区で寄せられる相談について情報共有や意見交換が行われている。今後、市域施設としての特徴を活かした取組を充実させることが課題となっている。</p>
	(2) 相談	
	(3) 区域を限定しない、市域を対象とする取組	

令和元年度社会福祉センター事業実績評価シート

事業	項目	市評価
		総評
3 場を生かした取組	(1) 場を生かした取組の実施 (例) 市域団体への支援、会場利用者へのPR・啓発、交流の場の提供、福祉保健活動につなげる取組	<p>場を生かした取組については、市内各所の活動団体同士の連携のため、話し合いや交流の場を設けるなど、市域の施設としての特徴を活かした活動を適切に実施している。</p> <p>会場利用者に対しては、活動団体の取組等について工夫してPRを行い、福祉活動の推進を図っている。</p> <p>立地を生かした企業等との連携については、ボランティア活動への企業の参画を促すだけでなく、企業自身が職員のボランティア活動を支援できるよう研修等の相談に応じたり、企業と地域との交流会を企画したりするなど、積極的に取り組んでいる。交流会や横浜サンプラザプロジェクト等においては、前年度から継続して取組むことで、地域団体や企業との繋がりができている。今後は具体的な活動計画や仕組みづくりについて取組を進めていただきたい。</p>
	(2) 立地を生かした企業等との連携	
	(3) 自主事業の実施	
4 広域団体・中間支援組織との連携、ネットワークづくり	(1) 広域団体・中間支援組織との連携、ネットワークづくり	<p>広域団体・中間支援組織との連携、ネットワークづくりについては、様々な関係する団体等のネットワーク作りに取り組んでいる。</p> <p>台風19号による被災地域に対しては、横浜災害ボランティアネットワーク会議と共催によりボランティアバスの運行を実施し、他の中間支援組織との連携を適切に行った。</p>
5 各区福祉保健活動拠点の支援	(1) 区域（区福祉保健活動拠点）の活動支援	<p>各区福祉保健活動拠点の支援については、区拠点のヒアリングを進め、検討を行っている。</p> <p>今後は、把握した課題に対する支援や効果的な取組の検討が求められる。</p>
	(2) 広域的、先駆的な団体や活動の育成	
その他考慮すべき取組等		<p>新型コロナウイルス感染症対策については、3月に施設の貸出を休止したほか、ボランティアセンターの一部事業を中止・延期する等の対応を行い、利用者の安全確保に努めた。</p> <p>今後は、新たな生活様式に基づく施設管理や事業の運営を工夫しながら、福祉保健活動の支援を行っていくことが求められる。</p>